

1年 9 解説	1次方程式を解くこと	___年 ___組
		名前

移項

$x - 11 = 7$  という式の両辺に 11 を加えると、

$$x \boxed{-11} + 11 = 7 + 11$$

$$x = 7 \boxed{+11}$$

$$x = 18$$

となる。これは、はじめの方程式の左辺の  $-11$  が右辺に移って  $+11$  になったものとみることができる。このように、等式の性質を用いれば、等式の一方の辺にある項を、その符号を変えて他方の辺に移すことができる。このことを**移項する**という。

一般的に、 $x + a = b$  の形の方程式を解くには、左辺の  $a$  を移項して、 $x = b - a$  とすればよい。

①  $6x - 11 = 7$

左辺の  $-11$  を移項して、

$$6x = 7 + 11$$

$$6x = 18$$

両辺を 6 でわると、

$$\frac{6x}{6} = \frac{18}{6}$$

$$x = 3$$

②  $6 - 2x = 12$

左辺の 6 を移項して

$$-2x = 12 - 6$$

$$-2x = 6$$

両辺を  $-2$  でわると、

$$\frac{-2x}{-2} = \frac{6}{-2}$$

$$x = -3$$